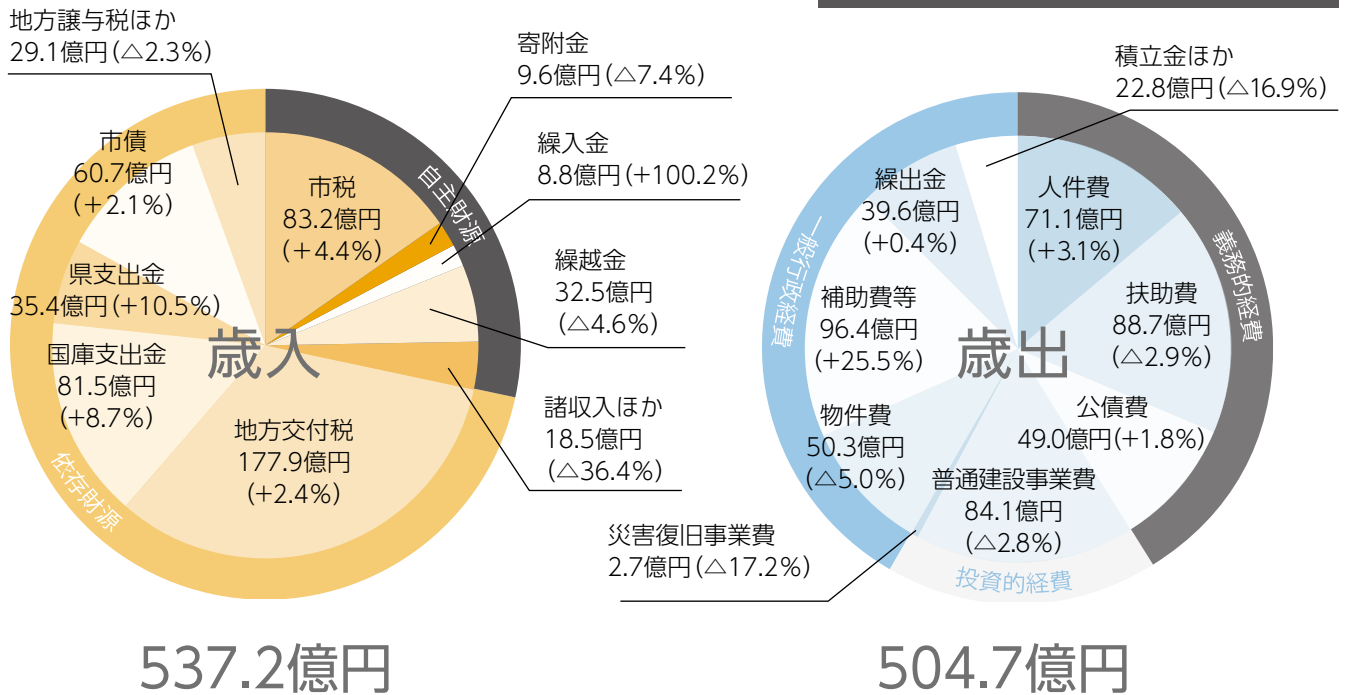




令和7年度の決算状況をお知らせします。

令和7年度 宇和島市の財政状況



市税などの自主財源は152.6億円（前年比△3.2%）、地方交付税や国県支出金などの依存財源は384.6億円（前年比+4.0%）となり、全体としては537.2億円（前年比+1.8%）となっています。

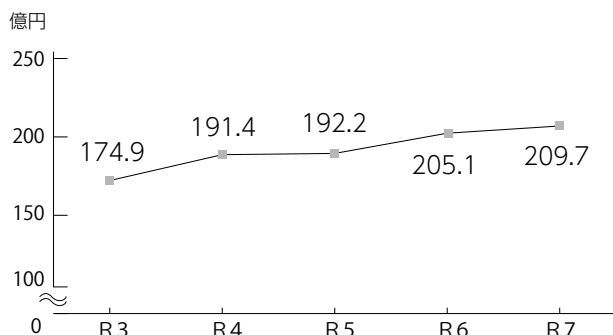
人件費や公債費などの義務的経費が208.8億円（前年比+0.2%）、投資的経費が86.8億円（前年比△3.4%）、物件費や補助費等などの一般行政経費は209.1億円（前年比+6.3%）となり、全体としては504.7億円（前年比+2.0%）となっています。

▶ 歳入と歳出の差額は32.5億円となり、黒字となっています。このうち、翌年度に繰越して執行する事業に必要な財源は9.7億円（前年比+22.6%）となり、実質収支額は22.8億円です。

市の貯金（積立基金残高）

市はさまざまな目的のために資金を積み立てています。

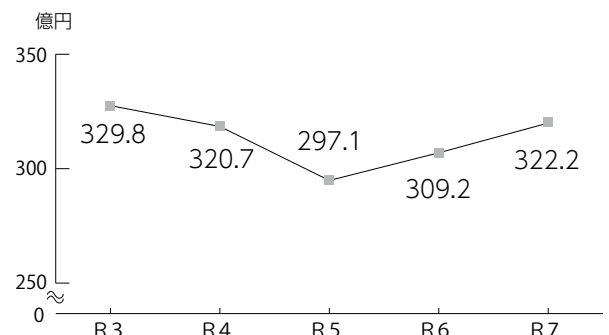
209.7億円 (+4.6億円)



市の借金（市債残高）

市が大きな事業をするために必要な財源で、多世代で利用する施設などを公平に負担する役割もあります。

322.2億円 (+13.0億円)



■各会計決算額

(単位：百万円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差引額
一般会計	54,175	50,938	3,237
特別会計			
国民健康保険 (事業勘定)	9,145	8,514	631
国民健康保険 (直営診療施設勘定)	170	165	5
後期高齢者医療	2,665	2,597	68
介護保険 (保険事業勘定)	10,493	10,115	378
介護保険 (介護サービス事業勘定)	58	58	0
財産区管理会	21	18	3
土地取得事業	83	76	7

※用語解説など詳しくは市ホームページで確認できます。

■財政健全化に関する指標

健全化判断比率と資金不足比率は、決算の内容が良い状態なのか、将来に不安はないのかなどを判断する指標であり、比率が低いほど自由度の高い財政運営であるとされています。

また基準を超えた場合は、財政健全化計画などを作成し、改善が義務付けられます。市の比率は次のとおりで早期健全化、財政再生の基準を超えるものではありません。

(単位：%)

比率区分	R3	R4	R5	R6	R7	R7早期 健全化基準	財政再生 基準
実質赤字	—	—	—	—	—	12.00	20.00
連結実質赤字	—	—	—	—	—	17.00	30.00
実質公債費	4.1	5.3	6.2	5.6	5.0	25.00	35.00
将来負担	—	—	—	—	—	350.0	

【資金不足比率】公営企業ごとに資金不足額をその企業の事業規模で割った比率です(経営健全化基準20.0%)。公営企業会計(水道事業会計ほか3事業会計)について、資金不足はありません。

主な事業



▶合併20周年記念事業



▶宇和島フォトフェスティバル事業



▶地域とつながる商品券事業



▶道の駅津島熱田温泉整備事業



▶中央公民館改修事業



▶児童・生徒用学習タブレット端末整備事業



病院事業

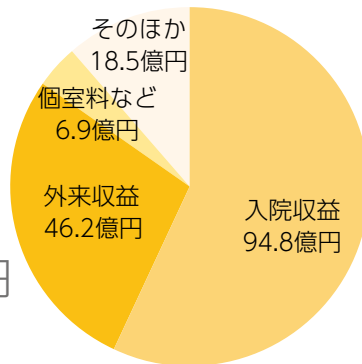
深刻な看護師不足もあり病床数を削減するなどの非常に厳しい経営環境や物価高騰が続き、3病院とも赤字となりました。

事業運営のための
経費（収益的収支）

収入

166.4億円

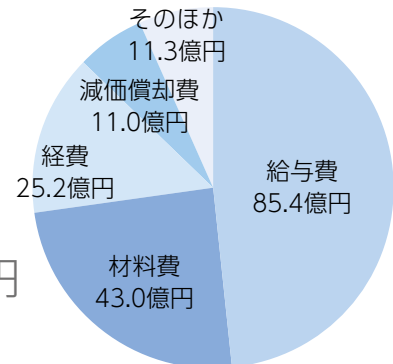
(+5.3%)



支出

175.9億円

(+1.0%)

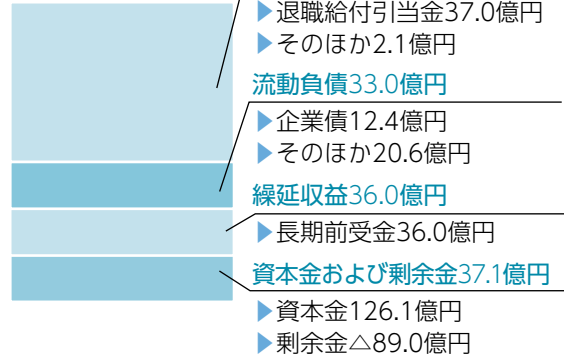


資産の部

貸借対照表



負債・資本の部



介護老人保健施設事業

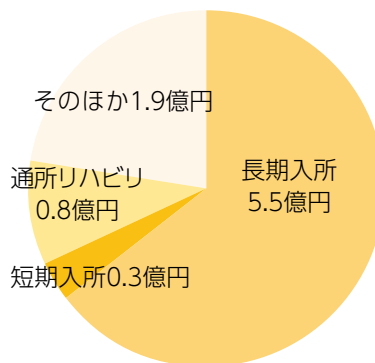
経営改善を図っていますが慢性的な赤字体質を解消できず、一般会計からの繰り入れを受けています。

事業運営のための
経費（収益的収支）

収入

8.5億円

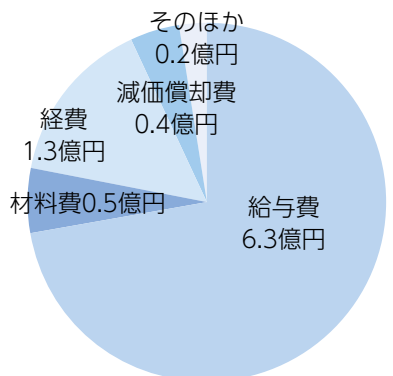
(+12.3%)



支出

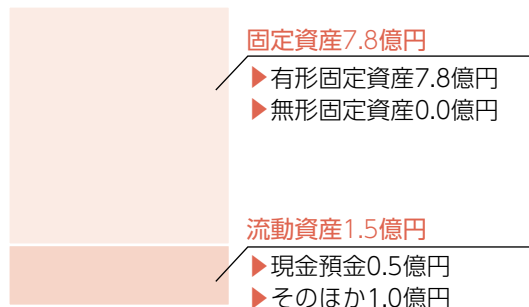
8.7億円

(+7.7%)

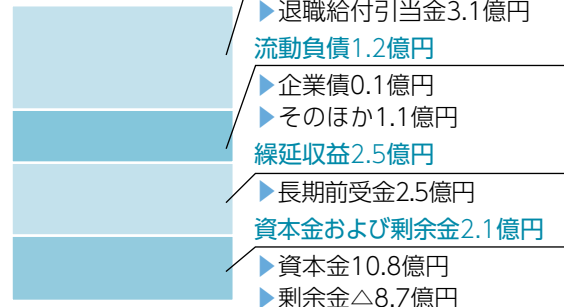


資産の部

貸借対照表



負債・資本の部

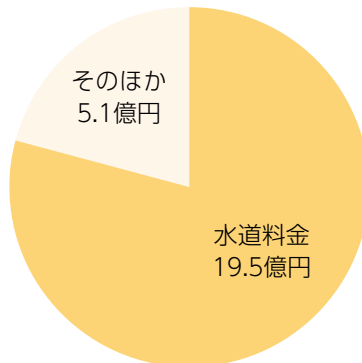


水道事業

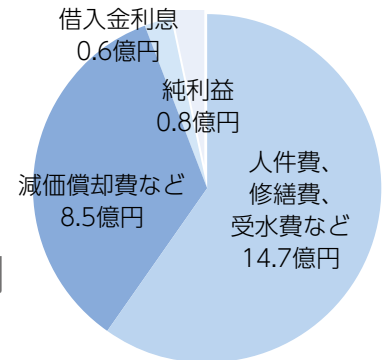
給水人口の減少により収入が減少しました。津島水道企業団との統合により受水費等が減少した一方で、人件費や減価償却費等が増加したことにより支出も増加しました。その結果、純利益は前年度と比較して約4,749万円の減少となりました。

事業運営のための
経費（収益的収支）

収入
24.6億円
(+8.7%)

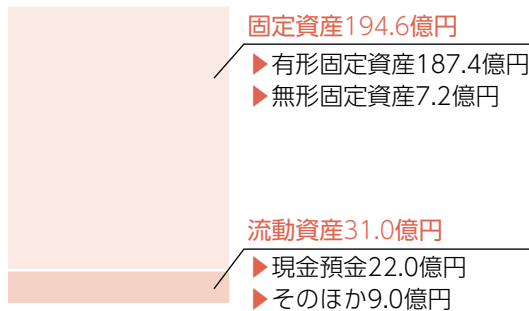


支出
23.8億円
(+11.5%)

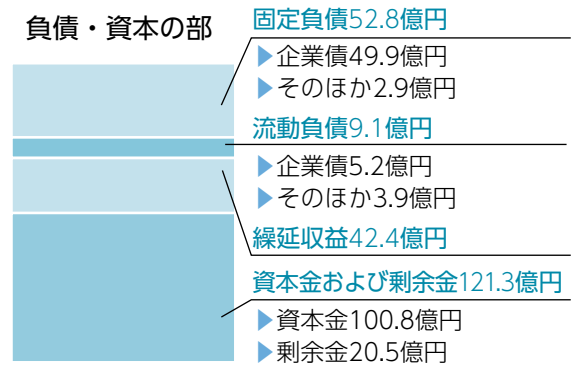


貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

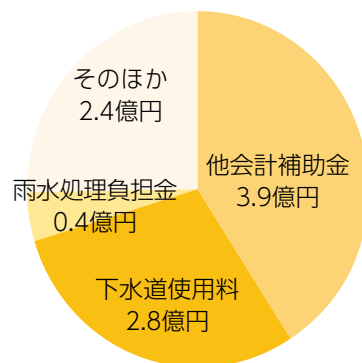


下水道事業

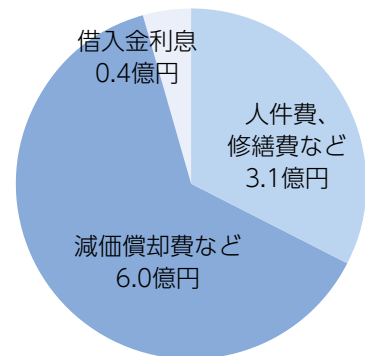
使用料収入は前年並みです。維持管理費などの経費削減や施設更新への計画的な投資を引き続き行っていきます。

事業運営のための
経費（収益的収支）

収入
9.5億円
(△3.8%)



支出
9.5億円
(△3.8%)



貸借対照表

資産の部



負債・資本の部

